

第15回 FM八女番組審議委員会 議事録

1 開催日 平成26年 8月27日（水） 午後4時00分

2 開催場所 FM八女 サテライトスタジオ

3 出席者 出席者総数 9名
委員総数 7名

出席委員（6名） 青木歳男 荒川真美 近藤雅哉
内藤智浩 酒井裕樹 篠原加代

レポート提出委員（1名） 吉武信博

放送事業者側出席者（3名） 中村絵梨香 高木祥平 仁田原陽子

4 議題 番組「きらきらミュージックBOX」

8月13日（水） 10：00～11：00 放送分

5 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。

6 番組内容 音楽番組

7 審議内容

◎番組内容全体について

- ・レベルの高い内容で凄く楽しく聴けた。
- ・パーソナリティ二人のデュエットがインパクトがあり、面白いと思った。
- ・凄く丁寧な番組進行で、入念に話し合っただけで番組に臨んでいることがよく分かった。
- ・他のパーソナリティのコンビの雰囲気と違いが出ていて良い。
- ・歌手の紹介、背景、それらと自己の経験談など、話題が多岐に亘りながらも番組テーマを逸脱しない、非常に聴きごたえのある番組だった。
- ・今回のテーマ「お盆」で、改めて考えさせられる事があり、良かった。
- ・送られてくるメッセージ等も、テーマに沿ったものが多く、リスナーとの関係づくりがうまくいっていると感じた。
- ・60～80年代の歌謡曲にあまり馴染みのない人でも、とても楽しめる内容でした。
- ・子供たちが夏休み中の放送だったので、子供たちへ向けたコメントや投げかけが

あってもよかったのではないかと思う。

- 地元で開催されるコンサートの事などにも触れていて、地元感が出ていて良かった。
- 「パーソナリティ」の本来の意味が『個性、人柄、人格』を指すと考えれば、今回のパーソナリティ二人とも、過去の経験や趣味、知識が番組テーマにハマったパーソナリティであったといえると思える。
- 今までは、ドタバタしていたり、噛んだり、言い間違いが多かったり、よく意味が分からない内容だった場合、酷評していた事もありましたが、まあそれらも『個性』と思えば良いのかな、と考えるきっかけになった番組だったような気がした。
- 前回の話題を続けて今回も言う場合は、補足をした方が、新規で聴いているリスナーも楽しめると思う。
- 番組全体にまとまりがあり、落ち着いた話しが本当に楽しめた。
- BGMが大きく、トークと合っていないのではないかと思う時間があった。
- 場面の切り替えが非常に良く出来ており、テンションがずっと同じではなく聴きやすかった。
- 届くメッセージから、リスナーの反応が良い事が良く分かった。
- 年代が違うが、とても面白く聴ける内容になっているので、もっと他の世代向けの内容もやって欲しい。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 10月30日（木） 午後4時00分

場所 FM八女 会議室

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------